

平成28年度ほ場整備未来フォーラム

県営ほ場整備事業の開始から半世紀が経過したいま、
ほ場整備の歴史や事業効果を様々な視点から振り返ります。

日時：平成29年3月10日（金） 13:00～16:00

会場：秋田県庁第二庁舎 8階 大会議室

プログラム

(1) 経過報告「秋田県のほ場整備 半世紀の歩み」

秋田県農林水産部農地整備課課長 佐藤 暢芳

(2) 特別講演「斎藤宇一郎とほ場整備 ～ 斎藤翁生誕150年に想う～」

公益財団法人斎藤宇一郎記念会会長 佐藤 範義 氏

(3) 事例報告「ほ場整備と園芸メガ団地」

農事組合法人能代グリーンファーム常盤代表理事
二ツ井白神土地改良区理事長 幸坂 登 氏

(4) 意見交換会「未来に向けた秋田型ほ場整備の推進」

コーディネーター 秋田魁新報社論説委員 阿部 弘道 氏

パネリスト

農事組合法人能代グリーンファーム常盤代表理事 幸坂 登 氏

農事組合法人鏡田ファーマーミング女性部 木村 真幸 氏

大森町グリーン・ツーリズム推進協議会会長 平元 由美子 氏

美郷町町長 松田 知己 氏

オブザーバー

秋田県農林水産部次長 瀧川 拓哉

主催：秋田県農林水産部 後援：東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所、
秋田県土地改良事業団体連合会

特別講演・事例報告・意見交換会パネラーの御紹介

公益財団法人 斎藤宇一郎記念会

会長 佐藤 範義 氏



乾田馬耕や耕地整理等の普及に尽力し、農業振興と地方発展のため多方面で活躍した斎藤宇一郎氏の功績を後世に伝えるため、1926年5月15日、斎藤宇一郎記念会が発足。

郷土の発展のために尽くした農聖斎藤宇一郎の遺品や農具、書物の他、古文書、民俗資料等を記念館に収蔵、展示している。

記念会が発足してから90年が経過し、現在の佐藤氏は10代目会長。

農事組合法人 能代グリーンファーム常盤

代表理事 幸坂 登 氏



能代グリーンファーム常盤は、県営ほ場整備事業「常盤本郷地区」を契機に平成20年に設立。

法人が経営するほ場整備地区内での水稻、大豆栽培の徹底した省力化を図り、近傍地域に整備された園芸メガ団地において、ネギを本格導入し生産を拡大。

新規就農者の育成や地域雇用の創出を積極的に行うなど、地域農業の発展にも貢献しており、その功績から、本年度東北農政局営農推進功労者表彰を受賞。

幸坂氏は、二ツ井白神土地改良区理事長も務める。

農事組合法人
鏡田ファーマーミング

女性部 木村 真幸 氏

県営ほ場整備事業「花輪地区」の事業完了を契機に、平成24年に集落営農組織から法人化。非農家と一体となった法人経営を展開。

水稻と枝豆を中心とした土地利用型農業を展開する一方、女性部会では農閑期に大根・人参等の乾燥野菜を製造し、直売所、首都圏等へ販売。

大森町グリーン・ツーリズム
推進協議会

会長 平元 由美子 氏

当協議会は大森地域の女性農家約40名で組織する「大森地域生活研究グループ協議会」を母体に、平成14年に設立。

子供達の農業体験の受け入れを中心に、東京都大田区との交流活動や秋田市内への農産物の宅配、棚田オーナーの取組等、幅広い活動を展開。

美郷町

町長 松田 知己 氏

美郷町は仙北平野南東部に位置し、豊かな土壌に恵まれた県内有数の穀倉地帯。昭和41年から県営ほ場整備事業を実施し、来年度は20地区目となる「畑屋中央地区」が採択予定。

豊かな湧水に恵まれた地域が多く、湧水に生息するイバラトミヨの保全等、水環境の保全に配慮したほ場整備を実施。